

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

飯島町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県上伊那郡飯島町

3 地域再生計画の区域

長野県上伊那郡飯島町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、昭和 50（1975）年の 10,292 人までは、急激な減少が見られ、その後、概ね横ばいを続けていましたが、平成 17（2005）年の 10,570 人以降、再び減少に転じ、平成 27（2015）年には 9,530 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 7（2025）年には 8,066 人となる見込みとなっています。

年齢 3 区分別人口を見ると、生産年齢人口及び年少人口が減少している（生産年齢人口：平成 2 年 6,860 人、平成 27 年 5,100 人。年少人口：平成 2 年 1,950 人、平成 27 年 979 人）一方で、老年人口は増加しています（平成 2 年 1,991 人、平成 27 年 3,198 人）。

また、自然動態については、平成 9（1997）年以降、死亡者数が出生者数を上回り、自然減が続いています。加えて、死亡者数と出生者数の差が年々広がっていく傾向にあり、今後も自然減が続くことが予想されます（平成 30 年 81 人の自然減）。

なお、合計特殊出生率は、平成 22（2010）年まで増減を繰り返しながら全体として減少傾向にありましたが、近年は 1.30～1.69 で推移しています。

社会動態については、平成 8（1996）年から平成 11（1999）年、平成 15（2003）年から平成 17（2005）年までは転入者が転出者を上回り、社会増となっていました。平成 18（2006）年以降は社会減が続いていましたが、近年の社会増減は拮抗

しています（平成 25～30 年平均 2 人の社会増）。

近年では特に進学、就職に伴う世代や子育て世代を中心とした若者の流出が続いています。人口減少及び少子高齢化の進展により、人手不足や小売業の廃業など地域経済縮小が進みつつあります。これらの課題に対応するため、以下の基本目標のもと、将来の合計特殊出生率を上昇させる取り組みや、積極的な転入・定住促進等による人口の社会増減を均衡させる取り組みを展開し、緩やかな人口減少と年齢構成のバランスを維持した持続可能な地域を実現します。

- ・基本目標 1 地域特性を生かした産業の創造と振興
- ・基本目標 2 点から面へ、そしてスポットから通年への交流の拡大・飯島町への人の流れの加速
- ・基本目標 3 切れ目ない支援による出生数の増加・「みんな」で支える子育ての実現
- ・基本目標 4 「みんな」の参加による魅力の向上・様々な情報発信による知名度の向上
- ・基本目標 5 健康で住み続けられる地域の創造・安心して住み続けられる地域の創造・豊かな自然環境を保全する地域の創造

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就農者数（累積）	—	20 人	基本目標 1
	町内工業従業者数	1,704 人	1,900 人	
イ	滞在人口率（休日）	1.83 倍	1.90 倍	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.30	1.60	基本目標 3
エ	観光客数（人）	280,700 人	300,000 人	基本目標 4
オ	人口の社会増減数	-197 人	0 人	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

飯島町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 地域特性を生かした産業の創造・振興事業

イ 点から面へ、そしてスポットから通年への交流の拡大・飯島町への人の流れの加速事業

ウ 切れ目ない支援による出生数の増加・「みんな」で支える子育ての実現事業

エ 「みんな」の参加による魅力の向上・様々な情報発信による知名度の向上事業

オ 健康で住み続けられる地域の創造・安心して住み続けられる地域の創造・豊かな自然環境を保全する地域の創造事業

② 事業の内容

ア 地域特性を生かした産業の創造・振興事業

産業及び雇用の創出は、地域の活力と定住人口の増加に不可欠です。恵まれた自然環境を活かしつつ、企業誘致や既存企業への支援、第6次産業化支援等、積極的な取り組みにより、地域全体の活性化と就業機会の拡大を目指します。

【具体的な事業】

- ・ 地域複合営農の充実
- ・ 森林機能の多面的利用
- ・ 住民生活の利便を向上させる商工業の振興 等

イ 点から面へ、そしてスポットから通年への交流の拡大・飯島町への人の流れの加速事業

本町には様々な観光資源があり、交流人口増大への可能性を秘めています。観光資源を生かすと共に、従来からのイベントや新たに企画され

たイベントの定着支援と情報発信により交流人口の増大を図ります。また、飯島町の流出入人口は近年均衡しつつあることから、より多くの移住者が飯島町を目指すための多様な支援の充実と、アルプスの眺望に象徴される魅力的な環境の中で、暮らしやすいまちづくりを進めることで、飯島町への人の流れを加速させます。

【具体的な事業】

- ・移住に関する情報発信と相談機能の充実
- ・魅力ある住環境整備の推進
- ・交流・滞在から移住への発展 等

ウ 切れ目ない支援による出生数の増加・「みんな」で支える子育ての実現事業

本町の人口減少を抑制するためには、出生率の向上が必要不可欠です。若い世代の結婚・出産・子育てへの希望を可能な限りかなえ、出生数の増加を促し、結果として人口の減少抑制を目指します。また、家族・地域・雇用など子どもや子育てを取り巻く環境が変化するなか、社会や地域全体で子育てを支えることが求められています。地域全体で子育てを見守り、支えあう支援を行うことで、安心して子育てを行うことのできる環境の創出を目指します。

【具体的な事業】

- ・安心して産み育てることのできる切れ目ない支援の充実
- ・子育てを「みんな」で支える体制の充実
- ・出会いから始まる「いいじま暮らし」の支援 等

エ 「みんな」の参加による魅力の向上・様々な情報発信による知名度の向上事業

町民自らが、飯島町の様々な資源の発掘と再確認により、町の魅力に「気付き」、その魅力を「洗練」させ、さらに、「向上」させることが、飯島町全体の魅力を向上させるために必要です。町民「みんな」が、それぞれの役割を認識し、取り組むことで、町の魅力を向上させるとともに、自らが「いいじまファン」になり、その輪を広げることによる交流人口の拡大を目指します。また、魅力が向上した飯島町を、「町民みんな

ながセールスマン」として情報の発信に取り組むことで、「訪れてみたい」「交流して楽しい」「住んでみたい」といわれる「まち」を実現します。

【具体的な事業】

- ・地域資源を最大限に活用することのできる体制の整備
- ・町民「みんな」がセールスマンの情報発信
- ・地域資源を活かした飯島ブランドの構築 等

オ 健康で住み続けられる地域の創造・安心して住み続けられる地域の創造・豊かな自然環境を保全する地域の創造事業

本町の高齢化率は、年々増加の一途をたどり、高齢者の健康寿命の延伸は喫緊の課題となっています。誰もが、自分らしく住み慣れた場所で生活できることは、高齢社会における基本です。町民が、それぞれの生活の中で取り組む、健康寿命を延伸するための取り組みを促進するとともに、必要な支援を行い、健康で住み続けることのできる地域を創造します。また、自然が豊かな地域であるが故に、様々な災害の発生が危惧されています。誰もが安心して住み続ける事は、飯島町の人口、産業、経済など、多くに関連する重要な課題と位置づけ、ハード、ソフトなど多角的な整備を行います。また、飯島町の自然は、町民共有の財産であるとともに、飯島町を特徴づける主要な基盤のひとつとなっています。この豊かな自然環境を守り続け、次世代に今のままの自然を引き継ぎます。

【具体的な事業】

- ・自分らしく暮らすことのできる支援体制の整備
- ・自立を支援する支え合いのまちづくり
- ・次代を担う子どもの学びへの支援 等

※ なお、詳細はまち・ひと・しごと創生飯島町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

300,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月に重要業績評価指標KPIの達成状況を集約し、外部有識者による効果検証を行います。検証後は速やかに飯島町公式WEBサイト上で公表します。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで